

## 1 京都デザイン&テクノロジー専門学校（京都市下京区）

### 【調査事項】

デジタル人材の育成について

### 【調査目的】

実践的カリキュラムを通して、創造力を磨き即戦力となるスキルを身につける京都デザイン&テクノロジー専門学校について、スマート社会を目指す本府の今後の取組の参考とするため、調査する。

### 【調査内容】

京都デザイン&テクノロジー専門学校（京都TECH）は、「コンピュータを使って『創造力』を仕事にする学校」をコンセプトに、令和4年4月に開校された。専攻は大きく分けて「ゲームワールド」「esports ワールド」「AI・IT・ロボットワールド」「5Gメディアデザインワールド」の4分野から構成されている。特に「AI・IT・ロボットワールド」にはホワイトハッカー専攻があり、昨今注目されているサイバーセキュリティの人材育成を行っている。また就職活動の早期化等の中で、学生が希望する職業・企業への就職を実現するために全専攻が専門学校として珍しい3年制または4年制となっている。

京都TECHでは、業界で活躍する現役のプロによる授業のほか、即戦力となるスキルを身に付けるために、企業からの課題を受け学生個人またはチームで制作を行う「企業プロジェクト」を教育の根幹として取り入れているとのことである。また京都から世界で活躍できるグローバル人材の育成を目指し、海外研修も来年度から行っていくとのことであった。

### 【主な質問事項】

- ・学生数について
- ・プロジェクトマネジメントに関する教育について
- ・消費者行動に関する教育について
- ・京都の中小企業との関係について など



調査事項を聴取



施設を視察

## 2 一般社団法人KOKIN〔於：FLAT+〕（舞鶴市）

### 【調査事項】

地域の魅力を生かしたまちづくりについて

### 【調査目的】

地域の様々な資源を生かしたまちづくりを行う一般社団法人KOKINについて、市町村の魅力的な地域づくりを支援する本府の今後の取組の参考とするため、調査する。

### 【調査内容】

2012年に舞鶴市で発足し、2019年に法人化された一般社団法人KOKINは、「地域経済」「観光振興」「人材育成」の領域で、地域の資源を生かしたまちづくりを行っている。KOKIN発足のきっかけとなったのが、現在観光振興の一つとして取り組んでいる「古民家の宿 幸嘉庵（さいかあん）」である。ギャラリーであった幸嘉庵を様々な人が集まるコミュニティスペースとするため、府の地域力再生プロジェクト支援事業交付金（現：地域交響プロジェクト交付金）を活用し、ワークショップ形式で改修を行ったとのことである。オープン後はレンタルスペースとして運営し、2017年からはゲストハウス事業を開始している。その他にも、旧薬局を改修し、現在はコワーキングスペースとして運営する「FLAT+」や舞鶴市に現存する銭湯を応援する「KOKIN銭湯部」など、幅広く取り組んでいる。

また「京都一、チャンスのあるまち」を目指すKOKINでは、舞鶴の「宝」を発掘・発信し、地域に還元することを目的とする合同会社HOUKOを設立し、舞鶴市・綾部市のふるさと納税制度を運営するほか、子育てにより定職に就くことが難しい母親たちが企業から業務を請け負うサービス「team.m」の運営なども行っている。特に「team.m」は母親たちの社会復帰支援ではなく、「稼ぐママをつくる」ことを目的としている。

今後は社会課題解決のため、地域に投資をする中小企業の経営者を増やしていきたいとのことであった。

### 【主な質問事項】

- ・ コロナ禍による活動への影響について
- ・ team.mの構成について
- ・ team.mで請け負う仕事内容について など



調査事項を聴取



現地を視察